

# 青田の主張

令和4年7月1日発行

## 地域おこし協力隊を応援したい！

4月のこの「青田の主張」で、地域おこし協力隊の皆さんに頑張っていたいただきたい、みんなで協力隊を応援しましょう！と、書かせていただきました。

現在美瑛町に着任して活動している地域おこし協力隊は、13名だそうです。意外に多いなと思いました。そして、8月以降あと3名が着任する予定で、今年度は合計16名の協力隊が、美瑛町の地域おこしのために活動することになるそうです。

今月の町政報告にも書きましたが、4月に着任した小沼君と話をする中で、もっと協力隊の皆さんの話を聞きたいと感じました。

それは、私だけではなく、町民の皆さんの中にも同じ思いを持つ方がいるのではないのでしょうか？

ある職員の方に、地域おこし協力隊について「どんな方がどのような仕事をしているのか、集まっていたいて話を聞いてみたい。飲みながらでもいいし、みなさんがどんなことを感じているのか、興味があります」と私の思いを伝えました。その職員の方は、「全国的な課題でもありますが、地元になかなか定着してもらえないという話もある。これから美瑛町の地域おこし協力隊の方々の活動を見える化できたらいいですね」と話をしてくれました。

せっかく美瑛町に来てくれた協力隊の皆さんが、この町の地域おこしに取り組んで、町をさらに良くしたいという初志を貫徹できるように、私は有志を募って、顔合わせの会のような場ができないかと考えています。4月号に、「関係人口を拡大させるためには、この制度はとても有効だと思っていますが、活動を成功させる鍵は人と人とのつながりかもしれない」と書きました。

気軽に協力隊の皆さんと話をする場を作りたい！

協力隊の皆さんの活動をもっと町の広報や、SNSなどで知りたい！

そのように考えています。

以上、今月の「青田の主張」でした。